

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.24

## 東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日  
例会日 毎週月曜日 12:30~  
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F  
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14  
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ 405号  
TEL: 06-6753-8823  
FAX: 06-6753-8826  
E-mail: jaherc@gmail.com



会長 金子 勝 信  
会長ノミニー 佐井 義 昌  
副会長 岡本 慎 一  
幹事 尾崎 元  
会報委員長 尾崎 元

## BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

第 2113 回例会 平成 31 年 3 月 18 日 (月曜日) 第 24 号

### 本日の例会 3月18日(月) 第3例会

- ソング 『我等の生業』
- 卓話 『魚を漁るように~地域変革の8つのステップ』
- 担当 岩橋 竜介会員
- 本日の献立 軽食カレー

### 次回の例会 4月1日(月) 夜 第1例会

- 卓話 『献血について』 赤十字血液センター主事
- 担当 岡本 慎一会員
- 本日の献立 鰻井と鰻巻き

### 前回の例会 3月11日(月) 第2例会

- ゲスト 元神戸造船所長 河野 文紀様  
浅野会員ご友人 岡崎 正彦様
- ビジター 東大阪RC 竹中 照次様  
東大阪東RC 北川 忠嗣様  
表 康之様

### 会長挨拶 会長 金子 勝信

皆さんこんばんは。

本日は月初めの夜例会です。

今日、3月11日で東北地方に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から8年が経ちました。

8年前の今日、マグネチュード9、最大震度7、死者は1万5897人にもぼる大惨事でした。この8年間で復興は進んでおり、2012年に26万人以上いた仮設住宅の入居者は2月末時点で1万人を切りましたが、避難者は、いまだに、5万人もいるそうです。

亡くなられた方に謹んで、お悔やみ申し上げるとともに、今もなお、被害の影響下にさらされている方にお見舞い申し上げます。

先日のロータリーデーのお話にもございましたが私達も今後起こりうるであろう、南海トラフ地震にも十分備えて、防災・減災の意識を高めていかなければいけないと思います。

### 幹事報告 幹事 尾崎 元

1. 本日、東大阪東ロータリークラブより「春のライラ」のPRに来ていただいております。ポストにチラシを配布しておりますので、ご確認をお願い致します

### 出席報告 小川 委員長

本日の会員数	18名
本日の出席者数	9名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	81.25%
2月18日の修正出席率	94.12%

### 二コニコ箱報告 SAA 岩橋 竜介

金子会長 北川様、表様ライラのPR有難うございます。河野様、後ほどのお話楽しみにしております。

尾崎幹事 ゲストスピーカーの河野文紀様、ゲストの岡崎正彦様、充分お楽しみください。ライラ実行委員会 東大阪東RC 北川様、副広報委員長の表様ライラのPR宜しくお願い致します。

藤原会員 ご参列下さいまして、ありがとうございます。

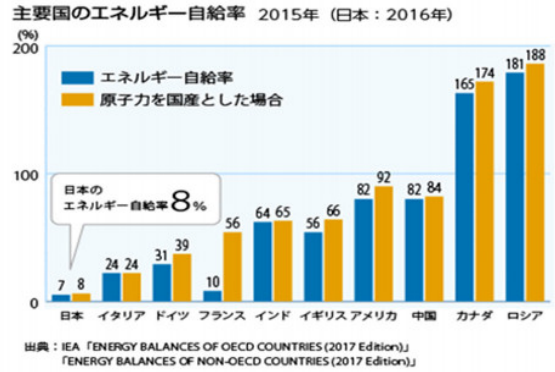
佐藤会員 本日の卓話、河野さんをお願いしました。宜しくご清聴のほどお願い致します。

佐井会員 本日のゲストスピーカー河野様よろしく申し上げます。

# 未来のエネルギー 核融合への取組と日本の貢献

## 日本のエネルギー事情

1. 極端に低いエネルギー自給率  
2016年の自給率：**8.3%**  
(OECD34か国中33位)
2. 高い中東依存  
一次エネルギーの94%は化石燃料（石油、石炭等）であり、石油の**87%は中東から輸入**
3. 厳しいCO2排出制限  
2030年までに**2013年比で26%減**  
2050年までに**80%減**

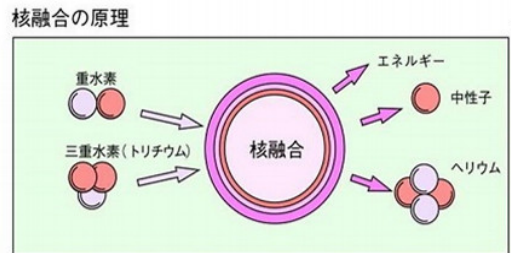


資源に乏しい日本は、化石燃料に頼らない原子力、再生可能エネルギー、水素などに取組んでいます。将来的には核融合を究極のエネルギーとして利用すべく開発が進められています。

## 核融合とは

1. 太陽がエネルギーを放射しているのと同じ原理
  - 重水素(H<sub>2</sub>) + 三重水素(H<sub>3</sub>)  $\xrightarrow{\text{核融合反応 (プラズマ状態)}}$  ヘリウム(He) + 中性子(n)

重水素は通常の水の中に無尽蔵に存在します。  
三重水素(トリチウム)は地球上にはほとんど存在しませんが、リチウム(Li)に中性子を当てると容易に作ることが可能です。



2. 膨大なエネルギーを発生する
  - 燃料（重水素+三重水素）**1g = 石油8t**（タンクローリー1台分）  
(原子力発電所（核分裂）と比較しても約4倍)
3. 安全でクリーン
  - 核融合反応は暴走しないので**安全**
  - 崩壊熱もないので、止めれば**直ぐ冷える**
  - 放射性廃棄物もほとんど出ないので**クリーン**  
(反応のできるヘリウムは風船に入れるヘリウムと同じ)



こんな夢のエネルギーですが、**大きな課題が、**

- 核融合を起こさせるためには、**摂氏1億度以上**の高温（**プラズマ状態**）が必要核融合反応を安定的に維持するための技術開発が世界規模で開発が続けられており、その中でも日本は最先端を走っています。

## 日本の貢献

1. ITERには、日本が従来から進めてきた『JT-60』の**成果が多く活かされています。**
2. ITERの主要部品は日本の企業が多数参加しており、海外各国で工程遅れ、品質問題などで計画が遅れているのに対し、日本は**高い品質と工程キープで存在感を増しています。**
3. ITERを補完する技術開発のため、JT-60SA（JT-60の改良型：茨城県那珂市）や、国際核融合エネルギーセンター、国際核融合材料照射施設（何れも青森県六ヶ所村）で開発が進められており、日本は**核融合技術開発の中核を担っています。**
4. ITERの次の実証炉を六ヶ所に建設すべく、日本は技術開発とともに人材育成、開発資源（人、物、場所、資金）の提供に貢献しており、**未来のエネルギー確保に向けて世界を牽引しています。**